

# 若女附中

熊本大学教育学部附属中学校

学校だより

平成31年2月20日

第18号

〈文責：高木〉

学ぶとどうして

牛山 栄世

それは、見る私が見られること

それは、働きかける私

働きかける私

どのようにして、私が変わり

あなたが変わること

学ぶとどうして

それは、私のなかにいるあなたと

あなたのなかにいる私と、感じること

どのようにして

私もあなたも元気になること

牛山先生は、長野県の小中学校

につとめられた先生です。私は、

この牛山先生の詩の最後の所が好き

です。

学ぶとどうして……どのようにして

私もあなたも元気になること

とどうして。

物事を理解した時

の英快感、すばらしい

作品と出会った時の

感動、友と考えを理

解しあえたときの一

体感など、学ぶを通し

て、私達は元気になるのです。

附中は、そんな、みんなが元気

になる響きあいを目標にしてい

ます。

## 感謝と礼儀

二年上組 高原



私たち二年生は2月26日、28

日の2日間、社会体験学習へ行

きます。それぞれがそれぞれの

事業所でお世話になります。全

員が希望に沿って、いる所へ学習

できる訳ではありませんが、社会

生活を生きていくために必要な

ことを学んでいくと、元気にな

ています。

マナーやルールを守って、仕事

を行うという事はあたり前の

ことです。ですが、人間誰しも

失敗してしまいます。その失

敗にどう対処するかが大切にな

ります。その対応の中で礼儀を

尽くすことが大切だと思います。

このことは、社会体験学習だけ

でなく、これから生きていく上で

必ず必要となるでしょう。まず

は、こういった礼儀やマナーを考

識して学習していくことと思いま

す。

この社会体験学習で学ぶこと

は礼儀やマナーだけではありま

せん。受け入れてくださった事

業所、体験学習のための準備をし

てくださった先生方、そして私

たちを体験学習に行かせてくれ

る保護者などさまざまな人に感

謝したいです。この感謝と「礼

儀」という形で示すという姿勢

で社会体験学習に取り組みま

す。

## 能本地震復興記念コンサート

に向けて

二年四組 菊川

私は5月12日に行われる「能

本地震復興記念コンサート」で

ステージに立たせていただきました。

憧れのオーケストラと共演

できることとなり、本当に夢の

ようです。しかし、このコンサ

ートに対する思いは嬉しいだけ

ではありません。

平成29年熊本地震では、多くの

方が被災され、茨山の大切な命が

奪われました。来てくださる方

の中には心に傷を負われた方も

います。そんな方々に少しでも

希望を持っていただきたいと思います。

います。またクラシック音楽にあ

まり興味がなくとも「音楽って、

いな」「他の事も聴いてみたい」と思っ

て欲しいです。

そのために、私は毎日練習を続

けています。地震で傷ついた方

の気持ちを推し量ることはでき

ないかもしれませんが、私達が

努力をしている姿を見せること

はできます。若しくても基礎か

らうし、かり積み重ね、より良い

演奏ができるようにしたいと思

います。そして、音楽の力で愛

の皆さんを元気づけ、楽しい

ひとときとすることを、できれば

本心に嬉しく思います。



※ 先日の熊本城マラソン、西田先生が4時間7秒、上園料先生が5時間37分でみごと完走されました。そして、なぜか私の家に熊本城マラソンのオレンジ色の風船が舞い降りてきて、びっくりしました。私の場合には感想です。